

平成28年度 第2回草津市健康づくり推進協議会		
日時	平成29年2月23日（木）午後1時30分～3時30分	
会場	草津市役所 4階 行政委員会室	
出席者	委員	樋上会長、中嶋部会長、白波瀬部会長、内田部会長、中島委員、太田委員、卯田委員、馬場委員、山本委員、安藤委員、高橋委員、喜田委員、高嶋委員、高橋委員、福山委員、田邊委員、草川委員〔計17名、順不同〕
	事務局	健康福祉部部長・太田ひろみ、健康福祉部理事・富安知翔、健康福祉部副部長・小川薫子、健康増進課長・田中みどり、同課参事・中瀬明美、同課副参事・松尾晶子、同課参事・古川郁子、同課専門員・山岡道子、同課事務・岡根久美子、健康福祉政策課副参事・織田泰行、保険年金課主任・河野紗依
欠席者	委員	横井副会長、田畑委員、寺尾委員、長谷川委員、垣根委員、樋口委員
会議資料		別添のとおり

#### 次第1. 健康福祉部長あいさつ

皆様こんにちは。委員の皆様方には大変御多用の中、また雨が降りました後の足元の悪い中、当協議会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。平成28年度第2回目となります草津市健康づくり推進協議会の開会にあたりまして、一言御挨拶を申しあげたいと思います。日頃は当市の保健衛生行政につきまして多大なる御支援、御協力をいただきまして誠にありがとうございます。この場をお借りいたしまして厚くお礼を申しあげます。この協議会につきましては、当市の健康増進計画でございます「健康くさつ21（第2次）」の推進に資するために市民の皆様のご健康維持に関する事項を協議する場として設置をしているものでございます。本日は過日開催をいただきました3つの部会の協議内容につきまして、それぞれ部会長から御報告をいただきますと共に、自殺対策推進会議の協議内容につきまして事務局より御報告をさせていただきそれぞれの内容につきまして、委員の皆様方から御意見をいただきたいと思います。また、健幸都市基本計画の案がまとまりましたのでその御報告も併せてさせていただきたいと考えております。今後の「健康くさつ21（第2次）」の取組の推進につきまして、委員の皆様方が様々な場で活躍をさせていただいております御経験を踏まえまして本日は忌憚のない御意見をいただきたいと思います。本日はどうぞ宜しくお願い申しあげます。

#### 次第2. 各部会等からの報告

（1）健康増進計画推進部会 1月19日開催について資料1～4に基づき中嶋部会長より報告。

（会長） 只今の説明を受けまして、何か御意見、御質問等はありませんか。

（委員） 学校給食について、給食センターで食中毒が起きたり、針や釘が入っていたとニュースで見ました。草津市は減塩給食の取組みをされていて良いなと思います。気を付けていると思いますが食中毒のこの記載がありませんが、どうなのでしょう。

（事務局） 直接担当ではありませんが、しっかり管理はされていると思います。

（会長） 他に御質問はありませんか。

- ( 委 員 ) 課題の中に若い世代への事業展開について、若い世代の健康に関する事業への参加が少ないとありますが、若い世代が参加できるメニューがないのか、メニューがあるのに参加しないのかどちらですか。メニューを増やせという意見がありますが、若い世代が参加できるメニューがないということになりますよね。これを見る限り、健幸ポイントは確かに20代、30代の人が少ないですが、これだけを見て少ないというのか、全体的にメニューが少ないのか教えてください。
- ( 事 務 局 ) 若い方も参加いただけるメニューではありますが、参加者を見ると50代、60代、70代の方が多いです。ヘルスチェックデーも体力チェックをさせていただきませんが、イオンで実施しますと若い方も少し多いですが、ディオワールドで実施しますと年齢層が高い方の参加が多い状況です。
- ( 委 員 ) ある程度若い方が参加できるメニューや準備はしているけれど、そこに若い方が来ていただけないという認識ですね。
- ( 事 務 局 ) そうです。
- ( 会 長 ) 事業を行っている時間帯は関係ないですか。
- ( 事 務 局 ) ヘルスチェックデーは、平日ではなく土曜日に行いました。健幸ポイントは日々取組んでいただくものになります。
- ( 会 長 ) 特別若い人が参加しにくいというものではないのですね。
- ( 事 務 局 ) 出来れば参加いただきたいので休日で設定しております。
- ( 委 員 ) 例えば親子連れをターゲットにするなら、大人だけが健診をすると子どもは無理ですよ。子どもも一緒に参加できるものにする親子で行きやすいかなと思います。大人だけですと子どもは待てないので、子どもにも簡単な運動(ボール投げやジャンプ等)を用意すれば一緒に参加できるかなと思います。自分のためだけには行かないけどというのがあると思います。
- ( 委 員 ) 女性は子どもを連れて買物するので、子どもが安全でいられることが十分でない、飛んだり跳ねたりできないので単独では難しいですよ。
- ( 委 員 ) 子どもも一緒に参加できたら良いと思います。
- ( 事 務 局 ) 取組みのところで出来る限り検討したいと思います。
- ( 会 長 ) 他に御意見等はございませんか。
- ( 委 員 ) 以前、「知らないうちに健康」というキーワードで放送されているテレビを観ました。地域の取り組みでないといけないし、その地域の量販店や小売店が薄味を出していても慣れてしまうということを放送していましたが、普通にやっけて知らないうちに健康になるのは凄いなと思いました。なかなか難しいと思いますが、何か一つのまとめで検討していただければと思いました。
- ( 会 長 ) その他いかがでしょうか。
- ( 委 員 ) ある新聞に子ども食堂の記事がありましたが、草津市の小学校の朝食の欠食率の把握はされておりますか。
- ( 会 長 ) 草津市では子ども食堂は何箇所かやっておられるのでしょうか。
- ( 委 員 ) 大阪の記事で草津市の地域ではなかったのですが、特に小学生の朝食の欠食率が気になったのでお聞きしました。

- (事務局) 少し古いデータではありますが、食育の平成21年度のデータによりますと、小学校5年生で朝食を欠食する割合が2.1%、中学2年生で3.3%のデータが出ております。高校生、20代、30代になりますと3割程多くなってきます。
- (委員) そのデータが健康推進のベースになってくると思いますので、留意しながら啓発活動をしていただきたいと思います。
- (会長) 立命館大学は朝食を100円で実施してますよね。多くの人が朝食を食べに来て、あれが無かったら朝食を食べていなかった人がいたり、だんだん高学年になるほど朝食を抜かないようにと言われていきますよね。小さい頃から教育していかないと、なかなかしていても難しいので気を付けなければいけないと思います。

次第2.(2)保健推進部会 2月8日開催について資料5～8に基づき白波瀬部会長より報告。

- (会長) 只今の説明につきまして、御質問、御意見等はございませんか。
- (委員) 子育て相談センターについてですが、草津市版ネウボラとありますがネウボラという言葉は一般的に認知された言葉なのでしょうか。切れ目ない支援を行う窓口だと認識されるような状況になっているのでしょうか。
- (事務局) ネウボラという意味は、そこへ行くとアドバイスや育児について色々な指導を受けられる場所という意味になります。最近の言葉で浸透しつつあると思っておりますが、まだまだ市民の皆さんには伝わっていないというのが現状です。
- (委員) 市民の皆さんがこういった役割を持った場所だとわかるよう啓発していくべきだと思います。以前の資料が妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行う(ネウボラ)という記載だったと思うので、ネウボラが前に来ているのでネウボラの啓発をしていかないといけないと思い、質問させていただきました。
- (委員) ネウボラの件ですが、妊娠から子育て期とありますが子育て期とは何歳までになりますか。
- (事務局) 主には、未就学児を中心に考えております。
- (委員) 小学校へ入るまでの子ということですか。
- (事務局) 入られたら対象ではないということではありませんが、制度として中心に考えているのは未就学児ぐらいまでと考えております。
- (委員) 何故このような質問をしたかと言いますと、中学1年生の子が登校拒否に陥っている子がいます。その子が該当するのかわかりませんが、何処まで子育て期というのでしょうか。私は中学生までは義務教育なので、中学生までは子育て期ではないのかなと思いました。私の地域にも登校拒否の子がいますが、相談機関が何処なのか分かりません。これからの結びつきをどのように考えていかれるのでしょうか。
- (事務局) 子育て相談センターにも一義的な窓口として相談していただいて構いませんが、専門的な部分になりますと学校関係や教育関係機関の方にお繋ぎし、連携をとりながら進めていきたいと思っております。
- (会長) 相談してもらうのは良いですが、紹介するという格好になるということですね。
- (事務局) 全てそこで完結するのは難しい問題になります。
- (委員) 子育て期とあるので、1年生未満というように明白にしてくれたらわかりやすい

と思いました。どこまで子育て期になるのか聞きたくて聞いてみました。

( 会 長 ) その辺は曖昧としているのですね。ここまでと区切るわけにはいかないのですね。

( 事務局 ) そうですね。

( 会 長 ) 他に何かございませんか。登校拒否の統計は教育委員会で取っておられるのですか。

( 委 員 ) 子どもが不登校になっていることは、当然、学校側は掴んでおります。毎日出席を取っていますし、欠席日数が増えた場合、何故欠席になっているのかということ、週1回教師が会議を開いています。保護者の方と連携を持ちながら学校にはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに来てもらう中から、個人面談や保護者の方の相談、関係機関の子育て支援センター、やまびこ教育相談室等色々相談機関がありますので相談しながら連携を進めております。学校は何もせずにはなく関係機関と連携しながら進めております。不登校の生徒の数は非常に多いです。

( 会 長 ) 大体何%ぐらいですか。

( 委 員 ) 先程15万人と言われていましたが、その数から考えますと当校も多いです。1人や2人ではなく、20人、30人になります。子育て期や子どもの小さいときは核家族で育て方そのものがわからないと言う人が多いと思います。今までお婆ちゃんや家族と同居していた人が出産した後、子どもに対してどのようにしたら良いのか不安をもたれる方が多いと思いますので、この様な取組みは非常に良いなと思います。若い御両親が子どもを虐待する記事が新聞でありましたが、相談体制の中で相談件数に挙がってくるのか、挙がってきた場合どうされているのか、母親が何かの面で困っている等出てくる可能性があるのかをお聞きしたいのですが。

( 事務局 ) 保護者の方の子どもの子育てやしつけ、対応面についての相談がございます。職種として、保健師、助産師、保育士がおりますのでお答えできることについては御説明させていただきます。発達面や専門的な部分は連携しながら繋いでおります。

( 委 員 ) 幅広くネットワークがあるということですね。

( 会 長 ) 相談に来られる方は良いですが、来られない方が虐待していたりするので、その辺をどうするかですね。一人で抱え込んでしまうと虐待に繋がってしまうのではないかと思います。草津市では虐待事例をどのくらい把握されていますか。

( 委 員 ) お母さんが話されている中で子育ての中で中学生ぐらいの段階でも非常に悩まれている方が多いのは事実です。簡単に解決に繋がらない悩みもありますので、色々な相談機関等でケアしていけるような体制が必要かなと思います。

( 会 長 ) そうなると子育て相談センターの方で高学年の方も対応しないといけないですね。

次第2.(3)健康増進部会 1月31日開催について資料9～13に基づき内田部会長より報告。

( 会 長 ) 只今の説明につきまして、御意見、御質問等はいかがでしょうか。特定健診の目標は何%ですか。

( 事務局 ) 平成28年度は55%、平成29年度は60%になります。

( 会 長 ) それが38%ぐらいしかないということですよ。

- ( 委 員 ) 特定健診の受診率がかなり低いですが、来られない人達は何故受けていないのか統計はありますか。
- ( 事 務 局 ) 数値では示しておりませんが、未受診者への対策としまして電話での受診勧奨をしていただき、昨年度受けられなかった理由を調査しました。40歳から64歳の方につきましては、時間が取れなくて受けることが出来ないという回答が割合を占めておりました。
- ( 会 長 ) よろしいですか。
- ( 委 員 ) はい。
- ( 会 長 ) なかなか若い人は健康診断に行かないのが実態かと思います。そういえば、私も50歳迄は健診に行ったことなかったです。50歳になってからそろそろ受けないといけないと思って毎年健康診断を受けていますが、なかなか若いうちは病気のことには考えていないのが実状ではないかと思います。社会保険の方は職場健診がありますが、国民健康保険は自分で行かないといけないですもんね。がん検診は、まずまず目標達成しているということですか。がん検診の受診率の目標はあったのですか。簡単にできる胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、肺がん、草津市は前立腺がんをやっておられますが。
- ( 事 務 局 ) がん検診の目標としましては、国は50%です。市の目標としましては現状値からみまして、胃がん10%程度、大腸がん、子宮がん、肺がんにつきましては平均より高いですが、胃がんは低めになります。乳がんにつきましては19%でしたが、「健康くさつ21」の目標としましては22%でした。
- ( 会 長 ) 母数は国民健康保険の方が母数ですか。全ての住民の何%ということですか。社会保険の人は職場健診を受けているので、それも含むと母数が大分違ってくると思います。
- ( 委 員 ) 国民健康保険は高齢者か自営業ですか。
- ( 会 長 ) そうですね。
- ( 委 員 ) 就業中は職場健診を毎年受けていましたが、定年退職すると関心が薄れますね。認識を持ってもらって受診率を向上させていくことになるかと思います。
- ( 会 長 ) 母数はどうでしたか。
- ( 事 務 局 ) 対象者数の出し方ですが、国勢調査から推計対象数が出されまして、そこから就業者数を引きまして、農林水産業の従事者数を足した人数が対象者数になります。
- ( 会 長 ) 国民健康保険対象者だけではないということですね。かなり低いということですね。他に御意見ございませんか。
- ( 委 員 ) 職場健診を受けていた人が退職して国保になる人は、自発的に習慣があった人ではないということですかね。会社でやっているから受けているだけで、自分で習慣にしている人ではないので、習慣じゃなくなったらなくなりませんか。
- ( 会 長 ) 社保になっているときも啓蒙しなければいけないということですかね。退職してしまうと自己責任になってしまうので、嫌々健診を受けていた場合は、なかなかすぐには難しいかもしれませんが。
- ( 委 員 ) 生活習慣病相談でヘモグロビンA1cが5.6なら大丈夫だろうと思ってしまうよ

うなことではないのですか。

( 会 長 ) 5.6ならなかなか厳しい数字ですが、50、60歳になってきたら5.6だったらまあまあいいかと思うくらいの数字です。何歳くらいで5.6かが問題かとは思いますが、年々ヘモグロビンA1cは上がってきますので、若い時に5.6だとかなり問題です。

次第2.(4)自殺対策推進会議 2月2日開催について資料14に基づき事務局より報告。

( 会 長 ) 何か御意見、御質問等がございますか。困っている人はどこへ相談するのですか。自殺しようかなという思いの人は特定の相談窓口はないということですか。

( 事 務 局 ) どなたでも身近な人に相談できるようなゲートキーパーを数多く増やしていきたいと思っておりますし、市としては、健康増進課が担当させていただいております。

( 会 長 ) 電話したら対応してくれるということですね。

( 事 務 局 ) 対応させていただきます。

( 委 員 ) 草津市の社会福祉協議会に心配事を相談する窓口を開設していますよね。相談件数はあるのでしょうか。今日行ったら下駄箱に「心配事相談所」という札が立っていました。

( 事 務 局 ) 実績の方は持ち合わせておりませんが、相談があった場合は当課へ連絡していただくような連携は取っていききたいと思います。

( 会 長 ) 自殺者は景気が良くなると減ってくると言われていますので、対策が効いてきたのか景気のせいなのかももう少し見ていかないといけませんね。草津市では講習を受けられたゲートキーパーはどのくらいおられるのですか。

( 事 務 局 ) ゲートキーパーは登録制ではございません。知識を得て理解いただき身近な相談者として見守る、話を聞くというのがゲートキーパーになります。人数は把握しておりませんが、研修者は毎回70、80人の方が受講していただいております。

( 会 長 ) 今年だけでなく何年もされているということですね。

( 事 務 局 ) はい。

次第2.(5)健幸都市基本計画(案)について資料15に基づき事務局より報告。

( 会 長 ) コンパクトシティについてですが、地方ではよく言われますが草津市でも考えていけないといけないということでしょうか。

( 事 務 局 ) 全国的には人口減少を見据えて都市機能を集約化してその地域を再整備していくというようなことがあります。草津市の場合は人口が伸びていますので直ちには必要ありませんが、将来を見据えた都市機能のマネジメントということを考える必要があります。まずは公共交通の整備をしながら、特に高齢社会が始まっていますので、出掛けやすい環境づくりをしていこうというところがございます。例えるならば、団子の串のような地域同士でおしくらまんじゅうをしながらコンパクトになりつつ串を通して都市機能と住宅環境を繋ぎ、出掛けやすい環境を創っていくことを目指しております。

( 会 長 ) 高齢者の運転免許の更新が難しくなるので今まで乗っていた人が乗れなくなると

ちょっとした買物が行きにくくなると思いますが、対策等は考えていますか。

(事務局) これからの移動手段、特に買物や通院は福祉の現場でも問題になっております。公共交通による再構築部分と福祉有償運送や地域の支え合いによる移動支援を含めて様々な手段を検討しながら進めていきたいと考えております。

(会長) 他に御意見ございませんか。抽象的過ぎて難しい面もあるかと思いますが。

(委員) 草津市全体のことはわかりませんが、南草津のアーバンデザインセンターでよくこの話が出てきます。そこではワークショップや勉強会が開かれています。最近市民の皆さんの参加も増えてきて、皆さん色々考えているんだなあと思いました。

(会長) 全体の話ですか。

(委員) 始めは参加者が少なかったですが、回数を重ねるごとに幅広い年代の市民が毎回集まってまちづくりについてワークショップを開いています。凄く良いことだなと思います。

(会長) ありがとうございます。これは行政も関わっているのですか。

(事務局) 先日、南草津のフェリエでタウンミーティングを行いました。パブリックコメントの期間中に2回のうち1回はアーバンデザインセンターで実施させていただきました。50、60の方が部屋一杯に集まっていたいただいてこれからの健幸都市についてタウンミーティングの中でワークショップをさせていただきました。今後も皆さんのお知恵をお借りしながら進めて参りたいと思います。

(会長) ありがとうございます。他にございませんか。

次第2. (6) 平成29年度の予定について資料16に基づき事務局より説明。

次第3. その他

(会長) 本日の議事内容等につきまして、何か御意見、御質問等はございますか。一つ聞きたいのですが、草津市は子ども食堂をしているのでしょうか。

(事務局) ゆかい家という場所でTudo Toko(つとどこ)という名前で中学生のひとり親家庭を対象に毎週2時間学習支援や生活習慣の習得や食事の提供をする事業を行っております。

(会長) 県か市から補助が出ているのですか。市は出てないですか。私は栗東市民ですが、栗東市は2つ程実施していましたが、社協がしているとかやめるとかやめないとか、言っていました。子どもカレー食堂というのが西の公民館で実施していましたが、対象を広げたら沢山集まり過ぎて財政的に厳しくなってきたのでやめるやめないとかで現在どうされたか知りませんが、お金の問題や対象者の範囲の絞り方も難しいと思いますね。県から補助金は出るのですか。最初は補助金が出ると聞きましたが。

(委員) 市でやっていますよね。

(事務局) 元々は県社協の縁創造実践センターの事業で制度の狭間の人を救うため、県社協の補助金を得て各地で子ども食堂の取組みが広がっているというのが前段であります。草津市の場合はゆかい家でNPOの協力をいただきながら、市の子ども家庭部主管で地域の方々の協力のもと子ども食堂を運営しています。

- ( 会 長 ) 毎年補助を出しているのですか。
- ( 事 務 局 ) 今年度から始まった事業ですので来年度以降は未定です。
- ( 委 員 ) 市の対応策はどのようにお考えですか。
- ( 事 務 局 ) 子ども食堂は福祉的な要素が強く、ひとり親家庭もしくは貧困、ご飯を満足に食べられなかったり、親が夜働いているので一人残された孤独な子どもを何とかしたいという気持ちで夕食を週1回でも一緒に食べようという集まりが子ども食堂になります。そういった子ども達をなんとか救えないかという取組みが今年から始まった段階になります。
- ( 委 員 ) 冒頭に聞かせてもらいましたが、小学生は欠食率が低いということですが、てこ入れしたほうが良いと思います。当然予算の問題もあると思いますが、ある程度お金を伴う事業をしないと動かないと思います。そういったものに大いにお金を使うんだというムード作りをして、資金をとっていただけるよう会議も大いにバックアップして財政を動かすようなことをしていけないといけないと思います。大学も沢山ありますし、食堂もありますので多少公共的な場面もありそうなので、モデル地区を決めて検討していただけたらと思います。
- ( 会 長 ) ありがとうございます。食育という意味でも小さいときにしっかり食べる習慣を付けておくことは大切ですので、草津市も是非ともやっていただけたらと思います。栗東市の場合は近くの農家からお米や野菜の差し入れがあるのですが、それでも運営が大変みたいです。お金がかかることなので容易ではないと思いますが。
- ( 委 員 ) 市役所の食堂がなくなりましたが、廃止の理由や今後の見通し等はどうかしているのですか。
- ( 会 長 ) 答えにくい質問ですがどうでしょうか。
- ( 委 員 ) なかなか良かったのに。知らないうちになくなっていました。
- ( 委 員 ) 皆が利用しないからなくなっていくので、需要と供給の関係が常にありますね。
- ( 委 員 ) 職員さんが支えてあげないといけないと思いますね。
- ( 委 員 ) 健康くさつで料理教室するとか上手いこと利用する。今あるスペースをどうしていくのか、健康でいるためには何かして欲しいと思いますね。
- ( 委 員 ) 草津市は草津ブランド6品目や他にも特産の農産物がありますが、勧めているわりにはなかなか手に入らなかったり、身近に無い物もあるので勧めるならそれを使った食堂があると良いなと思います。草津ブランドをもっと皆さんに利用してもらうために、市の食堂で草津市の食材を使った料理を食べてもらうのが良いなと思います。以前、栄養士さんと話をしたとき、子ども食堂をやりたいけど駄目だったという話を聞いたことがあります。もしかしたらやりたい方がいらっしゃるかもしれないので、市の方で活動できるような援助をしてあげたら良いんじゃないかと思いました。話は変わりますが、市役所の食堂あると便利ですよね。お弁当やパンは販売されていてそこで食べられるスペースにはなっているので、休憩しながら打合せできますし夕方まで開いてますよね。場所が無いときはそこで打合せ出来て便利ですが、食堂はあった方が良いでしょう。
- ( 委 員 ) 採算が合わないからだと思いますが、採算が合わないところに行政がどうするの



か動かないと採算合わなくてやめていったら行政要らないですよ。

( 委 員 ) 何回か利用しましたが、なかなか美味しかったですよ。

( 委 員 ) そういう意見を言わないからなくなってしまうんですよ。極端な話ですが、民間で家賃要らないから0円でやって欲しい等打合せするとかしないと、言ってるばかりで実行されない。

( 委 員 ) 課の中では難しい話かもしれませんが、健康推進の会議の中でこういう案が出ているということを出長なり理事者に向けて、それぞれのセクションで考えを出していただいて職員も3日に1回でも利用するように呼び掛けた方が良いと思います。どんどん利用者が増えてなんとかしないといけないという話になると良いと思いませんね。

( 委 員 ) 民間から言えば補助金が出るとお弁当を持って来るより良いので厚生の話になりますが、例えば市の職員が利用するなら補助金を出しましょうということをしなないと市の方もお弁当持ってきたほうが安くつくと思われるので、そういった助成制度が無かったら潰れますよね。採算合わせられないのですからね。ロクハ荘やなごみの郷で調理をしますが、館長と話をしたとき利用してくれるのは嬉しいけれど、食堂を利用してくださいねと言われます。なぜなら業者が入っているからです。社会福祉協議会でボランティアをしています。催し物で来てくれるのは嬉しいですが、来られたらお金を落として欲しいと思います。お弁当を持って来るのではなく、食堂を利用してもらいまた勉強してもらおう。そういう様にしていだけないかと館長は提案されます。私達は理解していますので、バスを利用してロクハ荘やなごみの郷で総会を行います。そこで食事をしてお風呂も入る。そうしないと、なごみの郷やロクハ荘行きの福祉バスの利用者は殆どいません。ですので、私達は何かあったらそこで会議をして利用します。もうじきロクハ荘の社会福祉協議会で行われている昼食の場所もやめていく可能性大ですので、大きく考えないと。皆さんが地域にいる限り利用させてもらおう、利用させていだけているという双方の気持ちが無かったら物事が潰れていくので、うまく調整してもらおう必要があると思います。

( 委 員 ) 立命館の100円食堂のように安くしたら、色んな人が市役所に食べに行こうとなりますよね。安くて栄養もあるしとなりますよね。

( 委 員 ) 大津市にあるNHKの食堂は一般の人も入れるので時々利用しますが、美味しくて安いです。まずは足元から興していかないといけないですよ。ゆくゆくはある時間帯は子どもの場を提供することも市として考えた方がいいと思います。改善のために市長に直談判して欲しいですね。

( 委 員 ) 利用していない人は何とも思っていないですよ。

( 委 員 ) みんなが利用しようとする支援体制を考えないといけないですね。

( 委 員 ) 健幸都市計画づくりも良いですが、身近な所から考えて欲しいですね。

( 会 長 ) 闊達なご意見ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。それでは今年の3月末をもちまして、健康づくり推進協議会委員の皆様の任期は終了となります。来年度は「健康くさつ21(第2次)」の中間評価があります。健康づくり推進協議会に2年間に携わって、「健康くさつ21(第2次)」等、健康増進に関す

る事項に対して、協議してまいりましたが全体をみて気になったことや御意見などがあれば最後に御感想等いただければと思いますが、いかがでしょうか。

ないようですので、以上で議事を終わらせていただきます。会議の進行を事務局へお返しします。

(事務局) ありがとうございます。多くの貴重な御意見いただきましてありがとうございます。本日賜りました御意見等を踏まえまして、各事業の推進に努めてまいりたいと考えております。また、現委員の皆様におかれましては、3月末日をもって任期満了となります。2年間にわたりまして本当にありがとうございました。新委員につきましては、来年度早々に各団体様宛に改めて委員の委嘱を御依頼させていただきます。来年度は、「健康くさつ21(第2次)」の中間評価の年となりますので、各事業丁寧に振り返りながら計画に沿って事業を進めていきたいと思っております。引き続き御協力をお願いします。本日はどうもありがとうございました。